

平成 27 年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	デジタルバイオ分子デバイスの創成と展開
研究代表者	民谷 栄一（大阪大学・大学院工学研究科・教授）
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
審査結果の所見	生体分子を高感度で分析するバイオデバイスの開発に関する応募者のこれまでの研究業績は、国際的に高い評価を受けている。本研究では、生体の有する分子認識や分子信号増幅機能に着目し、これと極微小流体デバイス、ナノセンシングデバイスとを連携させることで、1 分子レベルの生体分子分析を実現するデジタルバイオ分子デバイスの開発を計画しており、今までの応募者の研究実績や準備状況から十分な研究成果を上げることが期待される。本研究は、基礎生物学研究に加えて、医療診断、創薬探索、環境分析などの分野においても大きな影響を与えることが期待され、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。